

さくらんぼの着色管理・「やまがた紅王」本格デビュー

りんご黒星病対策強化

今年のさくらんぼの生育は、3月以降の気温が高かったため平年より5日程度早く進んでいます。管理作業を徹底し、高品質生産に努めましょう。

〈収穫期予想〉

佐藤錦は平年満開55日後が収穫開始目安。60日後が収穫盛期の目安になる。満開が4月21日頃の園地は 開始：6月上旬頃 盛期：6月14～17日頃

■着色管理

①摘果

着果状況を見極めながら慎重に行う。

②枝吊り・誘引

下がり枝を上向きになるように誘引し枝と枝の間隔を確保。

③新梢管理

主幹・主枝基部が混んで、日当たり不良、薬剤が通りにくい場合に実施。主幹・主枝基部の強い新梢、内向きの新梢を切り、先端付近は切らない。切り過ぎに注意し（適度に残す）、弱った樹は実施しない。

④葉摘み

果実を育て、着色させるには葉の力が必要なため、「早すぎ」「摘み過ぎ」には注意。大きい葉は、花束状短果枝当たり4枚以上残す。マメ葉（小さい葉）をとる。果実に挟まった葉をとる。枝を隠す葉をとる。

⑤反射シート

着色始期頃（収穫2週間前頃）から地面の50%以上に設置する。収穫期に高温が続く場合は直ちに撤去する。

■「やまがた紅王」本格デビュー

大玉新品種の「やまがた紅王」が今年いよいよ本格デビューします！大玉（3L以上）で品質の良い果実を目指しましょう。

〈やまがた紅王の摘果のポイント〉

【着果の目安】花束状短果枝当たり：平均1.5～2果未満
適正な着果量に調整することが重要です。成らせ過ぎには注意！

■さくらんぼ作業中事故注意

さくらんぼは高所での作業が多くなります。あせらず、無理のない作業をしましょう。

- 脚立には必ずチェーン。最上段には上らない。
- 雨除け施設のクランプ、パイプ、マイカ線に不具合がないか確認。
- できるだけ複数人で作業をする。
- 休憩・休息・水分補給をこまめにとる。

りんご黒星病対策強化のお願い！！

1 雨前防除を徹底する

- 防除予定日に降雨が予想される場合は前倒しで防除を行う。

2 薬剤散布量を守る

- 発芽直前 3500以上／10a
- 展葉期～落花直後 4000以上／10a
- 5月中旬以降 5000以上／10a

3 防除間隔を守る

○予防防除が主体となるため、雨前散布を原則とし、防除間隔は10日以上空けない。

4 耕種的防除で菌密度を下げる

- 被害葉、被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。
- 被害葉の落葉処理をする。

5 薬剤の付着しやすい園地（樹）にする

- 剪定により、薬剤が全体に付着しやすい樹にする。

※ JAてんどう病害虫防除暦を参考に対策強化をお願いします。